

本時の目標

・資料の傾向を根拠を明らかにして分析することを通して、資料の分析するには様々な視点があることに気付くことができる。

教材

中学校第1学年 資料の活用

本時の流れ

主たる学習活動と 教師の主な発言	予想される生徒の主な反応	指導上の留意点
<p>1年を振り返って生活はどうでしたか。 どんなことにどれくらいの時間を使っているでしょうか。 全国の10歳～14歳の人たちの時間の使い方はこうです。</p> <p>10歳～14歳だけの帯グラフを見せる。 年代によってこれらの時間の使い方は変わるのだろうか。</p> <p>全年代の帯グラフを提示。 4つのヒストグラムを提示。 年代によって時間の使い方はどんな特徴があるのだろうか。 1つのグラフを選んで分析してみよう。</p> <p>まずは1人で分析してみよう。</p> <p>班で話し合ってみよう。</p> <p>話し合ったことを発表しよう。</p> <p>いろいろな視点から見るとたくさんの方が分かりますね。</p> <p>今日の授業の振り返りをしましょう。</p>	<p>「睡眠」「食事」「テレビ」「パソコン」「勉強」「部活」「友達と遊ぶ」など</p> <p>似ているな。</p> <p>子どもと年寄りによく寝ている。 仕事と学業は60歳を越えると減少している。</p> <p>いろいろな視点でグラフを読み取ることができた。 同じ資料でも様々な解釈をすることができる。</p>	<p>選ぶグラフを学級の状態に応じて指示をする。</p> <p>グラフを分析するための視点を確認する</p> <p>同じグラフを選んだ生徒同士で班を作る。</p>